

主 要 施 策	都市基盤の充実による住みよいまちづくり
施 策 の 柱	1 2 安全安心な交通施策
施 策 の 分 類	住みよい環境

■ 現状と課題

○鶴田町の道路交通

町を南北に縦断している国道339号及び同バイパスは、中心市街地の骨格を形成しており、広域の交通流動を円滑に処理する機能を持っています。

また、中心市街地と集落間を結ぶ幹線道路や集落内の生活道路などが整備され、都市機能を保つ重要な生活基盤となっています。

しかし、歩道の未整備区間や狭隘路が安全安心な移動の妨げとなっており、防災対策の観点からも改善が必要です。

○公共交通機関

公共交通機関として、JR 五能線と路線バスが町と主要都市間を結び、広域交通において重要な役割を担っていますが、いずれも少子高齢化や車社会の全盛を背景に利用者が減少しており、特に路線バスにおいては維持が困難な状況です。このため、通勤、通学、通院など利用者のニーズに合った公共交通の検討が必要です。

★身近な生活道路の整備 【H21.3 鶴田町都市計画マスタープラン 住民意向調査より】

- | | |
|--------------|-------|
| A) 満足度 | 9.8% |
| B) 不満度 | 40.6% |
| C) どちらとも言えない | 49.6% |

★歩道の整備 【H21.3 鶴田町都市計画マスタープラン 住民意向調査より】

- | | |
|--------------|-------|
| A) 満足度 | 13.3% |
| B) 不満度 | 30.9% |
| C) どちらとも言えない | 55.8% |

★身近な生活道路の整備 【H21.3 鶴田町都市計画マスタープラン 住民意向調査より】

- | | |
|--------------|-------|
| A) 満足度 | 9.8% |
| B) 不満度 | 40.6% |
| C) どちらとも言えない | 49.6% |

■ 目指す姿（基本方針）

- 幹線道路・生活道路としての環境を整備し、交通の円滑化を図り、安全・安心で快適に移動することができるまちを目指します。
- 町民の生活の足として、安全・安心して利用できる公共交通ネットワークが確立されたまちを目指します。

■ 施策の内容

- 未整備となっている都市計画道路については必要箇所の整備とともに、廃止路線を含めた道路位置や幅員構成など都市計画道路の見直しに取り組みます。
- 狭隘道路の拡幅やすみ切りの確保、行き止まり道路の解消などの拡充に取り組みます。
- 交通環境の機能充実を推し進め、交通の安全性や利便性、火災時の消火活動や避難時の移動等円滑化の促進を図ります。
- JR五能線とバス交通において、安全安心で快適に移動することができる環境と機能の充実を図るため、関係機関との協議を進め、学生や高齢者にも住みよい交通体系の整備に取り組みます。

担当：建設整備課

